学校番号	1205

令和８年度　デュアル科

教科	デュアル	科目	(学)生活支援技術入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント教材（担当者作成）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

座学においても演習（実技）においても、福祉現場を意識しながら指導します。また、介護職員初任者研修の課程を授業内に取り込み、より専門性のある授業を行います。基礎的な知識と技術を基に、適切な判断をし、それを表現する創造的な能力を身につけ、発揮できるような活動を行います。

・授業のまとめや振り返りを行う「振り返りシート」は定期的に提出してもらいます。
・授業はプリント教材（ワークシート）で行います。ワークシートに板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業ポイントや自分自身で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などをメモして提出するようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
介護を必要とする方々を取り巻く住環境や整容、移動、食事、入浴、排泄、睡眠、終末期介護などの生活に関わる様々な支援技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】
身につけた知識や技術を基に、介護を必要とする方々一人一人に合わせた支援技術を提供するための思考力や判断力、表現力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】
介護の基本的な考え方である自立支援や尊厳の保持を基本に、対人援助職として求められる福祉観や倫理観を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	介護を必要とする方々を取り巻く住環境や、整容、移動、食事、入浴、排泄、睡眠、終末期介護などの生活に関わる様々な知識を理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	介護を必要とする方々一人一人に合わせた生活全般の支援技術を提供するための課題を発見し、対人援助職として求められる福祉観や倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。	よりよい生活支援技術を提供することをめざし、対人援助職として求められる福祉観や倫理観などについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生活支援入門	・生活支援の理解 ・生活支援に向けたアセスメント	a:基礎的な介護の知識のもと、利用者の生活状況を的確に把握し自立と安全を重視した活動を実践していく能力を身につけている。 b:介護の専門職をめざす者として、利用者の尊厳を重視した生活支援のあり方を考え、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身につけている。 c:自立を支援する介護のあり方に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上をめざす態度を身につけている。	確認テスト ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 定期考査	観察 ワークシート 振り返りシート
	こころとからだの基本的理解	・こころのしくみ 学習と記憶 感情と意欲 自己概念と生きがい 適応行動 ストレス ・からだのしくみ 骨 関節 筋 ボディメカニクス 神経 内部器官	a:要介護者に対し安全、安楽な介護技術を提供するための、心身の構造や機能に関する基礎的な知識を身につけている。 b:心身の構造や機能について振り返り、人体に対する尊厳について考察している。心身の構造や機能について理解することが、なぜ安全、安楽で、尊厳のある介護に繋がるのか、自分の言葉で表現できる。 c:心身の構造や機能に関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、介護に従事する者として必要な、人体を敬う態度を身につけようとしている。	確認テスト 実技試験 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 定期考査	観察 ワークシート 振り返りシート

2学期	生活支援技術①	・整容の介護 ・移動・移乗の介護 ・食事の介護 ・入浴・清潔保持の介護 ・排泄の介護 ・睡眠の介護	a:日常生活の中で起こる介護の具体的な場面を想定し、利用者と関わる上で必要な基本的、総合的な介護に関する理論について理解し、知識として身につけている。 b:ＩＣＦの視点に基づき、利用者の心身の状態や状況に応じた望ましい介護のあり方を考え、的確に表現しようとする能力を身につけている。 c:利用者の尊厳を重視した生活支援に対する介護に関心を持ち、必要な技術を意欲的に学ぶ態度を身につけている。	確認テスト 実技試験 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 定期考査	観察 ワークシート 振り返りシート
	生活支援技術②	・終末期の介護 ・介護過程	a:終末期の介護のあり方についてその基礎的な理論を理解し、知識として身につけている。 b:終末期における介護のあり方についてその望ましい方法を考え、的確に表現する能力を身につけている。 c:終末期の介護のあり方に関心を持ち、必要な知識・技術を意欲的に学ぶ態度を身につけている。	確認テスト ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 定期考査	観察 ワークシート 振り返りシート
3学期	生活支援技術③	・レクリエーションにおける介護 ・快適な住環境 　福祉用具	a:日常生活の中で起こる介護の具体的な場面を想定し、利用者と関わる上で必要な基本的、総合的な介護に関する理論について理解し、知識として身につけている。 b:ＩＣＦの視点に基づき、利用者の心身の状態や状況に応じた望ましい介護のあり方を考え、的確に表現しようとする能力を身につけている。 c:利用者の尊厳を重視した生活支援に対する介護に関心を持ち、必要な技術を意欲的に学ぶ態度を身につけている。	実技試験 ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表 定期考査	観察 ワークシート 振り返りシート

	演習	・事例検討 ・介護支援計画	a:日常生活の中で起こる介護の具体的な場面を想定し、利用者の立場を重視した適切かつ安全な介護技術を正しく実践に移すことができる。 b:ＩＣＦの視点によるアセスメントに取り組む上で資料や事例を適切に活用し、実際の介護活動の取り組みについて的確に考えをまとめ発表することができる。 c:人間としての尊厳の保持、自立生活支援を目的とした生活支援技術のあり方に関心を持ち、意欲的に学習に取り組む姿勢を身につけている。	ワークシート 定期考査	ワークシート レポート 発表 定期考査	観察 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度